



新実祥悟
市政クラブ

市の将来人口について

問 社会保障・人口問題研究所の予測よりも人口減少が進んでいるのではないかと思うが市の考えは。

答 令和2年国勢調査による人口は7万9538人で、社会保障・人口問題研究所が公表していた将来推計人口予測から若干の改善傾向が見られた。だが長期的には減少傾向が続くと推測される。

問 人口増を目指し、地道な努力を続けることが必要と思うが、具体的な施策はあるか。

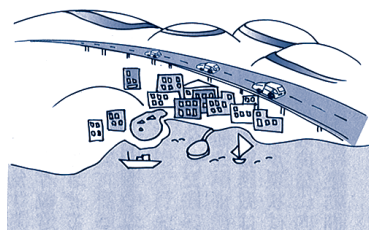
答 移住・定住の施策として移住フェアへの出展やセミナーの開催による知名度向上に努めるとともに、リアルな蒲郡市を体験する「移住体験ツアー」や蒲郡市内の企業で働きの

がら、地元で交流し、休日を通す「がまごおりワーキングホリデー」等を行い、移住者の確保に積極的に努めている。

企業用地確保について

問 令和5年4月1日の機構改革において産業立地推進室が新設されるが、どのようなか。

答 産業立地推進室を新設し、専属の室長と担当を置くことで体制強化を図り、製造業に限らず、商業や農林水産業を含めた産業誘致や立地相談、産業用地の開発支援を専門的に取り扱い、産業立地に取り組んでいきたい。



大須賀 林
自民党市議員

一般廃棄物最終処分場の今後について

問 大塚町の最終処分場について、埋立て終了後の跡地利用をどのように考えているか。

答 現在、具体的に計画されていないが、廃止後、速やかに跡地利用が開始できるように、地域の意見を聞きながら、多くのの人に喜んでもらえる跡地利用を検討していきたい。

技術職の確保について

問 技師の採用実績を伺う。

答 直近の技師の採用状況は、令和3年度は、土木技師が募集2名に対して1名、建築技師が募集1名に対して0名であった。

4年度は、土木技師が募集2名に対して2名、建築技師が募集2

名に対して0名、電気技師が募集1名に対して1名となっている。

問 技術の継承には時間がかかる。いざという時のためにも、毎年少しでも多くの技師を採用していくことが重要と考える。今後の技師の確保に向けた取組について伺う。

答 高卒者を対象にした採用枠を設けたり、受験可能な年齢を引き上げる等の受験要件の緩和を図ってきた。また、民間企業を志望する人も受験しやすくなるよう、4年度よりSPI（民間企業が実施している総合適性検査）による採用試験も導入している。



尾崎広道
自由クラブ

西浦地区複合施設

問 体育館棟1階の多目的室、3連の会議室を利用可能な政治活動、宗教活動、企業の利用とはどのようなものか。

答 学校運営に支障がなく、社会教育法の目的にある住民の教養の向上、健康の増進などを逸脱しない範囲の活動は可能と考えている。

第42回農林水産まつり & 食育フェスタ

問 開催中、西ゲートが閉鎖されており、出展関係者から苦情の声があったが、2日目も改善されなかった。対応について伺う。

答 感染症対策として、西ゲートは搬入時、搬出時のみ開錠とし、出展関係者等には御理解いただいたと認識している。コロナ禍の開催

で不慣れな点もあった。改善が必要な部分については実行協議会で検討し、よりよい開催に向け努力していきたい。

児童生徒への挨拶、交通安全の指導

問 毎朝、さわやかに挨拶し、手を挙げて横断歩道を渡る子どもたちがいる。小中学校における挨拶や交通安全の指導について伺う。

答 挨拶については、地域の人たちにも挨拶をしようと呼びかけている学校が多いと把握している。交通安全指導については、例えば小学生には、手を挙げることを効果的であることなどを指導している。

